

2. 環境目的・目標の計画と実績

佐賀営業所では、環境に与える影響を極力削減するための目的・目標を定め、環境活動に取り組んでいます。また、ここに掲げる定量的な目標以外にも、全社における環境活動の具体的計画である「環境アクションプラン」に基づき、環境負荷を低減する取組みを所員一丸となって行っています。

(1) EMS目標と実績の推移(2006～2007年度)

当所における環境目標の内容と実績については、以下のとおりとなっています。

全体目的	全体目標	2006年度		2007年度		主改善施策
		目標	実績	目標	実績	
所内の使用電力量削減	所内の使用電力量削減	前年度比1.0%削減	2.4%	—	—	3事業所(佐賀支店、佐賀営業所、佐賀電力所)での取り組みのため、日常運用管理へ変更
廃棄物抑制・リサイクル体制確立	供給支障事故の減少	継続事故11件以下	7件	お客さま当り停電時間1分	1分	変動の大きい事故件数からお客さま当りの停電時間に目標を変更
資源の再使用体制の確立	旧規格電柱の再使用	再利用率90%以上	88.4%	—	—	旧規格電柱の発生が不安定であり、目標として不適なため日常運用管理に変更
CO ₂ 排出抑制	オール電化住宅普及促進	普及2,410戸	2,457戸	普及2,700戸	2,950戸	2008年度からはCO ₂ 削減効果の高いエコキュートに特化した目標に変更 当社からの買電に切り替え可能な施設については獲得済のため、日常運用管理へ変更
	エコキュート普及促進	—	—	年1,000台	1,607台	
	自家発電り需要の獲得	2,000kW以上	3,025kW	—	—	
原子力の環境特性面の更なるPR	プルサーマルの環境特性面の更なるPR	—	—	必要性認識向上10ポイント以上	23ポイント	実績見合いで目標値を変更

(2) 2008年度EMS目標

2008年度は、以下の内容を目標に掲げ、環境活動に取り組んでいきます。

全体目的	全体目標	2008年度目標
廃棄物抑制・リサイクル体制確立	供給支障事故の減少	お客さま当り停電時間1分
CO ₂ 排出抑制	エコキュート普及促進	年1,679台
原子力の環境特性面の更なるPR	プルサーマルの環境特性面の更なるPR	必要性認識向上20ポイント以上



エコキュート普及促進活動